

はなまる新聞

甚目寺小学校
1月7日発行
発行者：学生ボランティア

No. 1

学校ボランティア新聞はじめました

9月から学生による学校支援ボランティアとして活動しています愛知教育大学の横井克哉、平野明日香、岐阜聖徳学園大学の溝口希、名城大学の清家大貴です。今年度の甚目寺小学校には4名の通称「学生ボランティア」がいて、担任の先生方をサポートしています。今回は、この4人で学生ボランティア「はなまる隊」を立ち上げました。この会の創設の目的は、学生ボランティア新聞を発行することです。この新聞は、学生から見た甚目寺小学校の良い点や気づいたことなどを児童や保護者の方々に伝えたいという想いで始めました。この新聞は、学生ボランティアの立場で書かせていただきますので、もしかしたら先生方とは違った見方や考え方になっているかもしれません。なお、定期的に発行するのではなく不定期に発行させていただきます。甚目寺小学校や児童の良いところをたくさん見つけれられるように活動していきます。今回は横井が書かせていただきましたが、これからは会のメンバーの誰かが書きますのでよろしくお願いします。

がくせい 学生ボランティア新聞 『はなまる新聞』

“はなまる”とは、まるやにじゅうまるよりよくできた時につかいます。甚目寺小学校には当たり前すぎて気づかれていない“はなまる”があるので、そこに光を当てるべくこの新聞を作っていきます。だから新聞のタイトルは『はなまる新聞』にしました。この新聞を通して、みなさんが少しでも多く“はなまる”を見つけられるようになってくれることを願っています。よろしくお願いします。

こんな“はなまる”を見つけました



先日、朝クラスに行くときにたまたま下駄箱に寄って見つけた写真。この写真を見て何が“はなまる”だと思いますか？

私は、両足がそろって真っ直ぐに並べられているところが“はなまる”だと思います。毎日使う

下駄箱で、あまり靴をきれいに並べることは意識されにくいことですが、小さいことでもきちんと

行える人は、心がきれいな人です。だからこそ“はなまる”なのです!!

文責：横井克哉